連携講座　③－１【聖路加国際大学】　定員28名

◆健康に過ごすためのこころとからだの使い方

主　題　皆さんのこころとからだは健やかですか。

この講座では、健康に過ごすためのこころの在り方、からだの使い方について、より健康に過ごすことを皆で考えていきます。

第３回目、４回目ではヨーガの動きを取り入れた演習を通して、からだを気持ちよく動かします。難しい動きはなく、初心者でも大丈夫です。

心身を健康に保つヒントを一緒に見つけていきましょう。

※第３回、４回はヨーガでからだを動かしますので、動きやすい服装や飲み物を各自ご準備ください。（更衣室をご用意します。）

講座番号　③－１

時　間：午後６時～７時30分
場　所：聖路加国際大学２号館
回　数：５回
受講料：1,500円
保険料：100円

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	5/15（水）	健やかに過ごすためのこころのもち方	保坂　隆
第２回	5/22（水）	健康的な生活習慣とこころの健康	包國　幸代
第３回	6/ 5（水）	ヨーガでこころもからだも気持ちよく①	花村　睦
第４回	6/19（水）	ヨーガでこころもからだも気持ちよく②	
第５回	7/ 3（水）	みんなで健康に過ごすために必要なこと	島内　憲夫 大久保　菜穂子

講師紹介

保坂　隆（ほさか　たかし）

保坂サイコオンコロジー・クリニック院長、聖路加国際病院診療教育アドバイザー。1977年慶應義塾大学医学部卒業。1990～92年に米国UCLA精神科留学、2003年より東海大学医学部精神科教授を経て、2010年より聖路加国際病院精神腫瘍科部長、2013年より同リエゾンセンター長兼務。2017年７月退職、８月より保坂サイコオンコロジー・クリニック院長に就任。『50歳からは孤独力』など著書多数。

島内　憲夫（しまのうち　のりお）

順天堂大学国際教養学部特任教授。医学博士。順天堂大学・同大学大学院修了。専門はヘルスプロモーション。日本各地で行政の保健医療職・住民と共に「健康なまちづくり」を行っている。「夢はあなたの明日を創る！」が信条。日本ヘルスプロモーション学会会長。WHO日本HPH（Health Promoting Hospital）ネットワークCEO（代表）。

大久保　菜穂子（おおくぼ　なおこ）

順天堂大学スポーツ健康科学部准教授。博士（スポーツ健康科学）。聖路加の教員として大学院教育に携わり、慶應義塾大学・武蔵野大学での非常勤講師を経て現職。順天堂大学スポーツ健康科学部で健康教育学・生涯健康論の授業を担当。日本ヘルスプロモーション学会理事。

包國　幸代（かねくに　さちよ）

聖路加国際病院副看護部長。聖路加看護大学（現・聖路加国際大学）修士課程地域看護学修了。10年以上にわたり、人間ドックの受診者に生活習慣病のアドバイスなどを行う。

花村　睦（はなむら　むつみ）

ハタヨーガ・ティーチャー。立教大学・日本女子大学卒業。米国・インドでヨーガを学び、「聞き合うコト・つなぐコト」をテーマに、ヨーガやコミュニケーションの講座を開催。誰にでも分かりやすい方法で、ハタヨーガストレッチと瞑想を行う。

会場図

中央区築地３－８－５
☎6226－6388

連携講座　③－2【三井記念美術館】　定員40名

◆展覧会を観る

主　題　三井記念美術館が開催する2019年度前半の展覧会にあわせ、企画担当者がそれぞれの専門の立場から講義を行います。

２時間のうち１時間が講義、あとの１時間が展覧会の自由見学です。

※はじめて受講される方が優先されます。
※当日欠席者には、翌日以降の平日午前９時～午後５時に、区役所６階文化・生涯学習課生涯学習係で入場券をお渡しします。

講座番号　③－2

時　間：午後２時～４時
場　所：三井記念美術館
回　数：２回
受講料：600円
入館料：1,400円（２回分）

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	5/17（金）	大用国師二百年・釈宗演老師百年大遠諱記念特別展 鎌倉禅林の美「円覚寺の至宝」	海老澤　るりは
第２回	7/23（火）	特別展　日本の素朴絵 －ゆるい、かわいい、たのしい美術－	清水　実

講師紹介

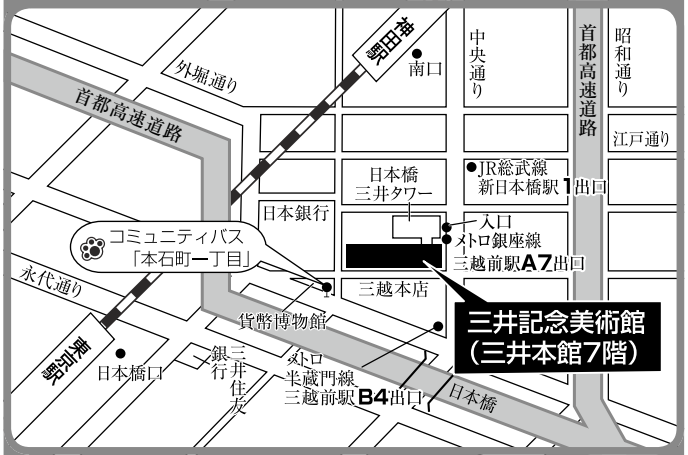
海老澤　るりは（えびさわ　るりは）

三井記念美術館主任学芸員。成城大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学。専門は日本彫刻史。

清水　実（しみず　みのる）

三井記念美術館学芸部長。國學院大學史学科卒業。専門は宗教美術史・文化史、茶道美術。

会場図



中央区日本橋室町２－１－１ 三井本館７階
☎5777－8600

三井記念美術館　展覧会スケジュール

大用国師二百年・釈宗演老師百年大遠諱記念特別展　鎌倉禅林の美　「円覚寺の至宝」

2019年4月20日（土）～6月23日（日）

円覚寺は、弘安５年(1282)鎌倉幕府第８代執権北条時宗により、中国から招聘した無学祖元を開山として現在の鎌倉市山ノ内に創建されました。そして、鎌倉宋朝禅興隆の基盤を築くとともに、中国との国際的な交流を通して鎌倉独自の宗教、文化、芸術を創造する中心的存在となりました。円覚寺とその一門寺院に伝わる、彫刻、絵画、書跡、工芸品などの優れた作品を多数展示いたします。

特別展　日本の素朴絵　－ゆるい、かわいい、たのしい美術－

2019年7月6日（土）～9月1日（日）

日本では昔から、さまざまな形式の作品に緩やかなタッチでおおらかに描かれた絵が残っています。それらはなんとも不思議な味わいを持っており、見る人を虜にします。本展覧会では、ゆるく味わいのある表現で描かれたこのような絵画を「素朴絵」と表現し、さまざまな時代･形式の素朴絵を紹介することで、新しい美術の楽しみ方をご提供します。また、彫刻にも素朴なものがあり、その一端をご覧いただきます。

連携講座　③－3【松竹株式会社】　定員80名

◆歌舞伎ものしり講座

託児付
【対象】
2歳半～
未就学児
6/19観劇時を除く

主　題　歌舞伎は江戸時代の日本人が創り出したエンターテイメントの最高傑作と言えるでしょう。そこには優れた色彩感覚や音楽、言葉の遊びが溢れ、綿密に練り上げられたストーリーは自由奔放に展開し、時には奇想天外な楽しさで観客を魅了します。その主役はなんといっても、舞台で華やかなオーラを放つ歌舞伎俳優たち。時代を超えて、脈々と受け継がれてきた芸は、観客からパワーを得てますます輝き出す……、だから歌舞伎は面白い！

今回の講座では、歌舞伎座一等席での観劇（6月公演）を通して歌舞伎の楽しさを体感していただきます。

講座番号　③－3

時　間：午後3時～4時30分
　　※第3回は午後3時～9時頃
場　所：築地社会教育会館ほか
　　※第3回は講義後、歌舞伎座
回　数：5回
受講料：2,500円
観劇料：14,000円～15,000円

※初めて受講される方が優先されます。
※ゲスト等の都合により、内容が変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/22（水）	せりふは歌舞伎の命	金田　栄一
第2回	6/ 5（水）	大道具と小道具	
第3回	6/19（水）	観劇の手引きと観劇	
第4回	7/ 3（水）	音楽と舞踊	
第5回	7/17（水）	團十郎の代々と襲名	

講師紹介

金田　栄一（かねだ　えいいち）

歌舞伎座舞台（株）顧問。大学在学中は歌舞伎研究会に所属し、1971年立教大学卒業後、松竹（株）入社。歌舞伎座宣伝課長、副支配人、支配人、演劇本部ゼネラルマネージャーを経て、2005年5月から（株）伝統文化放送代表取締役社長就任。2008年から歌舞伎座舞台（株）代表取締役社長、2012年から現職。

歌舞伎座外観

会場図（第3回講義終了後）

中央区銀座4－12－15

連携講座　③－4【メゾン・デ・ミュゼ・デュ・モンド】　定員70名

◆絵画の楽しみ
～戦争と平和：ゴヤからピカソへ－歴史の事実か芸術の真実か－～

主　題　スペイン美術史の専門家であり、ピカソの研究において第一人者である大髙先生に、ゴヤからピカソにいたるまで、その作品や画家の人生を歴史とともにお話しいただきます。先生がスペインで自ら見てきた光景や作品をスクリーンで見ながらわかりやすく解説していきます。

講座番号　③－4

時　間：午前10時30分～正午
場　所：DNP銀座ビル
回　数：4回
受講料：2,000円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/15（水）	ゴヤが生きた二つの世紀：ロココ美の終焉から近代の誕生へ	大髙　保二郎
第2回	5/29（水）	ピカソが生きた世紀転換期：バルセロナの光と影	
第3回	6/12（水）	ピカソと平和：バレエ、音楽、古典主義の時代	
第4回	6/26（水）	ゴヤとピカソ、二つの戦争： 《1808年5月3日》と《ゲルニカ》をとり結ぶもの	

講師紹介

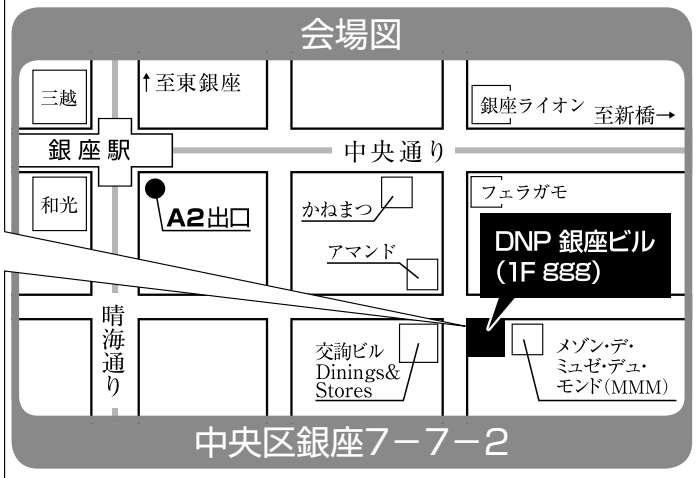
大髙　保二郎（おおたか　やすじろう）

早稲田大学名誉教授。スペイン美術史。ベラスケス、ゴヤ、ピカソを中心に美術書の解説・翻訳のほか、ピカソ展、プラド美術館展の監修も務める。著書に『スペイン　美の貌』（ありな書房）、『ゴヤ「戦争と平和」』（新潮社）ほか。

会場入口

1Fに「ggg（ギンザ・グラフィック・ギャラリー）」があるビルです。
入口はギャラリーとは別に、交詢社ビル向かいにあります。

会場図



中央区銀座7－7－2

連携講座　③－5【三重テラス】　定員50名

◆世界遺産　熊野古道セミナー

主　題　伊勢神宮と熊野三山をつなぐ参詣道の総称である「熊野古道」は、2004年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録されました。今年は世界遺産登録15周年。

本講座は、「三重の「いいとこ」ぜんぶ日本橋へ。」をテーマに日本橋室町で情報発信を行っている三重テラスとの連携講座です。

講座番号　③－5

時　間：午後2時～3時30分
場　所：三重テラス
　　2階イベントスペース
回　数：2回
受講料：600円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/15（水）	熊野古道の魅力	三石　学
第2回	5/29（水）	熊野の神話・伝承	

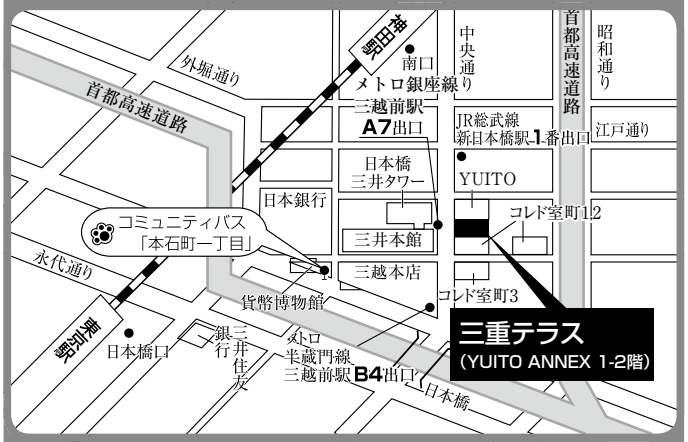
講師紹介

三石　学（みついし　まなぶ）

熊野市文化財専門委員長、みえ熊野学運営委員長。1955年熊野市生まれ。島根大学地理学科卒業。学生時代は出雲地方をフィールドに民俗学、地理学を研究。1980年熊野市役所に奉職し、熊野古道の発掘、調査、整備を中心とした観光や熊野学の推進に尽力。世界遺産登録の際にはユネスコ・イコモス調査団の説明員を担当。現在は熊野旅の文化企画代表として熊野の歴史文化の旅の講演、講座を全国で開催。また、早稲田大学エクステンションセンターやクラブツーリズム古事記講座講師などを務める。編集書には『海の熊野』（森話社）、『お伊勢参りと熊野詣』（かまくら春秋社）、『三重県の謎解き散歩』（新人物往来社文庫）、『地名は警告する』（冨山房インターナショナル）、『別冊太陽・熊野』（平凡社）、『写真集・惑星熊野』（求龍堂）など。

松本峠木の根道

会場図



中央区日本橋室町2－4－1
YUITO ANNEX 1F･2F

連携講座　③－6【ぐんまちゃん家】　定員35名

◆まるごと！ぐんま学～群馬の歴史と文化を知る～

主　題　群馬県は、古来より信越地方と関東を結ぶ交通の要衝の地としての歴史を重ねてきました。東国の要として発展してきた群馬県には、たくさんの魅力があふれています。

徳川家と群馬県のつながり、草津・伊香保・水上・四万をはじめとする数々の温泉、“焼きまんじゅう”や“おっきりこみうどん”などをはじめとする群馬県の食文化。今回は群馬県が身近に感じられる情報が盛りだくさん。

各分野の専門家が、群馬県の歴史、文化についてわかりやすく解説します。

講座番号　③－6

時　間：午前10時30分～正午
場　所：群馬銀行東京支店
　　４階会議室
回　数：３回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	5/16（木）	第５代将軍　徳川綱吉～徳川家と群馬県～	岡屋　紀子
第２回	5/23（木）	ぐんまの温泉文化～ユネスコ無形文化遺産登録を目指して～	熊倉　浩靖
第３回	5/30（木）	ぐんまの粉食文化～ぐんまの伝統食～	武藤　直美

講師紹介

岡屋　紀子（おかや　のりこ）

館林市教育委員会文化振興課市史編さんセンター職員。館林市出身。國學院大學文学部史学科卒業。大学で考古学・日本史学を専攻。1981年に館林市役所に入り、文化振興課文化財係で学芸員として文化財の調査や市立資料館の展示を担当。2001年から館林市史編さん事業の担当となり、館林の歴史・文化・自然に関する資料を調査し、これまで毎年１冊ずつ『館林市史（資料編・特別編・通史編の15巻）』を刊行。現在は、『館林市史』ダイジェスト版を編集中。

熊倉　浩靖（くまくら　ひろやす）

高崎商科大学特任教授。群馬テレビ顧問。群馬県出身。京都大学理学部中退。シンクタンク勤務、県立女子大学教授・群馬学センター副センター長を経て現職。専門は日本古代史、社会教育、行政評価、地域づくりと多岐にわたる。主な著書に『上野三碑を読む』（雄山閣）、『井上房一郎·人と功績』（みやま文庫）、編著『群馬県謎解き散歩』（KADOKAWA）など。

武藤　直美（むとう　なおみ）

群馬県立歴史博物館学芸員。岐阜県出身。國學院大學大学院文学研究科前期課程修了。2000年から群馬県立歴史博物館で民俗資料担当学芸員として展示・資料収集などに従事。2012年より群馬県教育委員会文化財保護課で民俗文化財の担当となり、「群馬の粉食文化・オキリコミ」の群馬県無形民俗文化財選択に携わる。2013～17年度にかけてオキリコミの調査を実施、報告書の執筆をした。2015年より現職。2018年秋、企画展「上毛かるたの世界」を担当した。

会場図

中央区日本橋2－3－21
群馬ビルディング4階

連携講座　③－7【築地本願寺　GINZA SALON】　定員45名

◆仏教の教えに遇う

主　題　築地本願寺は、浄土真宗本願寺派（西本願寺）の直轄寺院です。お寺がありますのは中央区築地ですが、「築地」とは元々佃島に住む浄土真宗のご門徒（信者）が、幕府から下付された海上を寺院が建つように海を埋め立て、土地を築いたことに由来します。築地本願寺にはいまも多くの方々が参拝されますが、より多くの方々とのご縁を結ぶため、2016年5月より銀座2丁目に「築地本願寺GINZA SALON」を開所いたしました。今回は、そのSALONでも好評いただいております講師に、お話をいただきます。

安永雄玄（築地本願寺宗務長〈築地本願寺の代表〉）は、ビジネスマン出身の僧侶として、人生を成功に導く条件について。山崎龍明先生には、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の教えから、豊かな人生とはなにかを考えていきます。また、大來尚順先生からは、英訳することが難しい日本語をキーワードとして、身近な仏教の世界観を感じていただける講座となっております。

どのような宗派の方のご参加も歓迎いたします。法事やお墓のことだけではない、さまざまなお寺の取り組みについて、知っていただければ幸いです。

講座番号　③－7

時　間：午後2時～3時30分
場　所：築地本願寺 GINZA SALON
回　数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/27（月）	ビジネスマン出身僧侶が提案する人生成功の5つの条件	安永　雄玄
第2回	6/24（月）	親鸞に人の生き方を学ぶ　～豊かな人生とはなにか～	山崎　龍明
第3回	7/29（月）	身近な仏教　～訳せない日本語に焦点をあてて～	大來　尚順

講師紹介

安永　雄玄（やすなが　ゆうげん）

築地本願寺代表役員宗務長、グロービス経営大学院大学教授。慶應義塾大学経済学部卒業。ケンブリッジ大学大学院経営学研究科博士課程修了。三和銀行(現・三菱ＵＦＪ銀行)、大手鉄道会社などにおいて事業企画開発から経営企画まで幅広く担当したのち、経営コンサルティング会社を経営。経営幹部人材のサーチ･コンサルティング、エグゼクティブ・コーチングを展開。2015年より現職へ就任し、首都圏での新しい伝道活動に従事。

山崎　龍明（やまざき　りゅうみょう）

浄土真宗本願寺派法善寺前住職、武蔵野大学名誉教授。龍谷大学文学部仏教学科卒業。同大学院修士課程修了。真宗学専攻。龍谷大学・駒沢大学講師、武蔵野大学教授、武蔵野大学仏教文化研究所所長を歴任。著書に『濁世を親鸞と生きる』（樹心社）、『仏教の再生』（毎日新聞社）、『初めての歎異抄』（ＮＨＫ出版）他多数。

大來　尚順（おおぎ　しょうじゅん）

浄土真宗本願寺派大見山超勝寺僧侶、著述家、翻訳家、寺子屋ブッダ理事。龍谷大学卒業後に渡米。カリフォルニア州バークレーの米国仏教大学院に進学し修士課程を修了。その後、同国ハーバード大学神学部研究員を経て帰国。僧侶として以外にも、通訳や仏教関係の書物の翻訳なども手掛け、執筆・講演・メディアなどの活動の場を幅広く持つ。

会場図

会場建物の入口は、ガス灯通りに面しています。

中央区銀座２－６－４
竹中銀座ビルディング５階

連携講座　③－8【芝浦工業大学】　定員40名

◆最先端の宇宙科学に触れてみよう！

主　題　1927年に東京高等工商学校として創立し、90年以上にわたり社会に貢献する技術者を輩出している芝浦工業大学との連携講座です。

中央区との連携講座は8年目を迎え、昨年に引き続き芝浦工業大学の特徴ある最先端の研究成果をお伝えしていきます。今回は宇宙に関する現在とほんの少し先の未来を学んでいきましょう。

講座番号　③－8

時　間：午後6時30分～8時
　※第3回は午後6時30分～8時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：3回
受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/29（水）	宇宙物理学入門 ～ブラックホールと超弦理論～	前田　健吾
第2回	6/ 5（水）	地球が生まれる以前にも地球はあったか ～隕石と超新星爆発からわかること～	武蔵　正明
第3回	6/12（水）	月惑星探査ロボットの移動を実験から考える！ ～新しい移動機構への挑戦～	飯塚　浩二郎 芝浦工業大学 学生チーム

講師紹介

前田 健吾（まえだ　けんご）

芝浦工業大学工学部情報通信工学科教授。東京工業大学大学院理工学研究科物理学専攻博士後期課程修了。博士（理学）。早稲田大学研究員（日本学術振興会特別研究員）、カリフォルニア大学サンタバーバラ校研究員（日本学術振興会海外研究員）、神戸市立工業高等専門学校講師などの職を経て、2007年に芝浦工業大学着任、現在に至る。日本物理学会所属。

武蔵　正明（むさし　まさあき）

元芝浦工業大学教育イノベーション推進センター特任教授。理学博士。上智大学大学院博士後期課程修了、ニューヨーク州立大学、ユトレヒト大学地球科学研究所、東京工業大学原子炉工学研究所、東京大学大学院、首都大学東京特任准教授を経て芝浦工業大学に着任。2018年より同大非常勤講師。日本地球化学会、同位体科学会、日本地球惑星科学連合などに所属。地球史と地球表層物質循環を研究している。

飯塚　浩二郎（いいづか　こうじろう）

芝浦工業大学システム理工学部機械制御システム学科教授。東京農工大学大学院、セイコーエプソン株式会社、総合研究大学院大学（博士（工学））宇宙科学専攻（JAXA RA）、中央大学理工学部助教（JAXA共同利用研究員兼任）、信州大学繊維学部TT助教、准教授を経て、2016年に芝浦工業大学システム理工学部機械制御システム学科准教授に着任、現在に至る。農業機械技術検討委員会委員[農研機構]、宇宙工学委員[JAXA]所属。日本スキー連盟（SAJ）スキー公認指導員。

第26回衛星設計コンテスト各賞受賞 芝浦工業大学　学生チーム

芝浦工業大学システム理工学部機械制御システム学科
村中　優里子、佐々木　航平、上野　佑理

2018年10月27日に開催された第26回衛星設計コンテスト（※）に出場し、月面探査ローバを開発したチーム「Sew」がアイデア大賞・日本機械学会宇宙工学部門一般表彰スペースフロンティア・最優秀模型賞の三冠を、月地中探査機支援システムを開発したチーム「TTT」が審査委員長特別賞を受賞。

※主催：日本機械学会、日本航空宇宙学会、電子情報通信学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本天文学会、宇宙航空研究開発機構、宇宙科学振興会、日本宇宙フォーラム。

連携講座　③－9【時事通信社】　定員40名

◆海外事情　米中「新冷戦」、日ロ交渉の行方

主　題　2019年は引き続き、貿易戦争を中心とする米中「新冷戦」の行方が注目されます。また、日本外交は北方領土問題が密接に絡む日ロ平和条約交渉が正念場を迎えます。中国側、ロシア側の事情をそれぞれ、現地特派員経験者が解説します。

講座番号　③－9

時　間：午後7時～8時30分
場　所：築地社会教育会館
回　数：4回
受講料：1,200円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	6/ 4（火）	習主席「1強」の内情	西村　哲也
第2回	6/11（火）	対米貿易戦争で腰が引ける中国	
第3回	6/18（火）	中ロは「蜜月」なのか―米国との三角関係を読む	平岩　貴比古
第4回	6/25（火）	プーチン大統領、北方領土引き渡しの最終条件	

講師紹介

西村　哲也（にしむら　てつや）

時事通信社外信部長。1985年時事通信社入社。大阪支社、外信部、北京特派員（1994～97年）、外信部次長、中国総局長(2002～04年)、外信部次長兼編集委員、香港支局長（2008～15年）、外信部専任部長、副部長を経て、2018年4月から現職。

平岩　貴比古（ひらいわ　たかひこ）

時事通信外信部記者。2005年時事通信社入社。外信部、広島支社、岡山支局、外信部、、モスクワ特派員（2011～16年）を経て、2016年11月から現職。

中国の習近平国家主席（左）とロシアのプーチン大統領（AFP時事）

連携講座　③－10【同志社大学】　定員100名

◆脳と遺伝子と老化

主　題　私たちの脳は年とともに老化する。運動機能も同じであるが、老化とともにあまり落ちないものや極端に低下するものもある。握力は前者の代表で、閉眼片足立ちの能力は典型的な後者の指標である。

それでは脳の機能はどうであろうか。いったん覚えた年号や歌詞は忘れないが、昨日会った人の名前を忘れることもしばしばある。

今回の連続講義では、脳の老化のメカニズム、それを防ぐ食事と運動、それらに重要な効果を及ぼす遺伝子のことを重点的に講義し、最後は、いま話題になっているゲノム編集について基礎からお話ししたい。あまり難しくなく、しかも最新の知見を紹介します。

みなさん！サプリメントだけで長生きしようなどと思っている方はいないでしょうね。

講座番号　③－10

時　間：午後2時～3時30分
場　所：同志社大学
　　東京サテライト・キャンパス
回　数：3回
受講料：900円

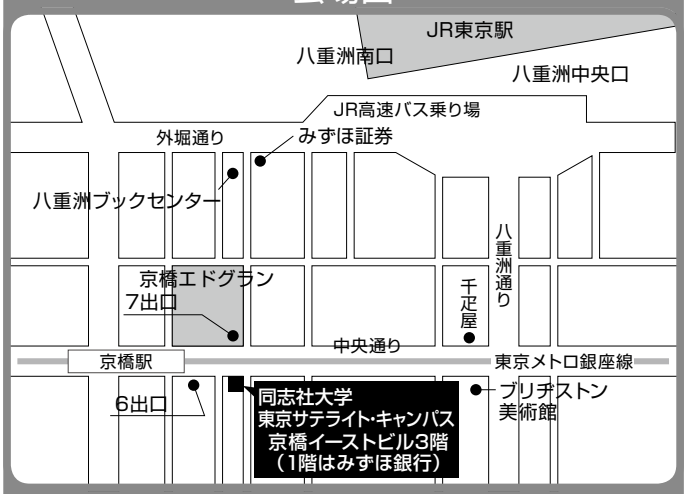
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	6/ 7（金）	脳の老化を防ぐ食事と運動	石浦　章一
第2回	6/28（金）	長寿も老化も遺伝子次第	
第3回	7/12（金）	ゲノム編集の最新事情	

講師紹介

石浦　章一（いしうら しょういち）

同志社大学生命医科学部医生命システム学科特別客員教授、東京大学名誉教授。1950年石川県生まれ。東京大学・理学系大学院修了後、国立精神・神経センター神経研究所、東京大学分子細胞生物学研究所、同・総合文化研究所を経て現職に。理学博士。専門は分子認知科学、特にアルツハイマー病。一般向け著書を多く執筆し、『東大超人気講義』シリーズなど著書多数。

会場図



中央区京橋2－7－19
京橋イーストビル3階

連携講座　③－11【清水建設株式会社】　定員60名

◆建築に見るものづくりの歴史～建築の歴史探訪～

主　題　文化元年（1804年）創業の清水建設株式会社は、明治期から全国各地でさまざまな建築・土木工事に携わってきました。中央区内においても、歌舞伎座、三井本館、日本銀行、服部時計店（和光）など名だたる建物が数多くあります。

伝統建築から近代建築までの歴史を、技術の変遷などを交えてたどる講義、建築資料から歴史を読み解き、建築の新たな魅力を感じていただく講義、また今年度の講座では、嘉永2(1849)年、初代清水喜助が施工し、昭和20（1945）年5月の空襲による焼失から約半世紀ぶりに再建された「穴八幡宮隨神門」と「穴八幡宮境内整備工事」を、わずかな歴史的資料でその伝統美を復元した、設計者が登壇します。

講座番号　③－11

時　間：午後6時30分～8時
場　所：清水建設㈱本社
　　2階　シミズホール
回　数：3回
受講料：1,500円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	7/ 4（木）	技術から見る建築　過去から未来へ ～現在の建築に至る建築技術の変遷～	林　章二
第2回	7/11（木）	伝統の技と現代技術の融合による伝統美の再現 ～穴八幡宮境内整備工事を通して～	福本　敦子
第3回	7/18（木）	戦後モダニズム建築の設計と施工	平井　直樹

講師紹介

林　章二（はやし　しょうじ）

清水建設㈱技術研究所上席研究員。名古屋大学大学院修了。博士（工学）。専門は歴史的建造物（明治以降の煉瓦造、鉄筋コンクリート造建物）の保存修理。

福本　敦子（ふくもと　あつこ）

清水建設㈱設計本部グループ長。早稲田大学大学院修了。修士（建設工学）。清水建設入社以来、社寺建築の設計を専門に手掛ける。

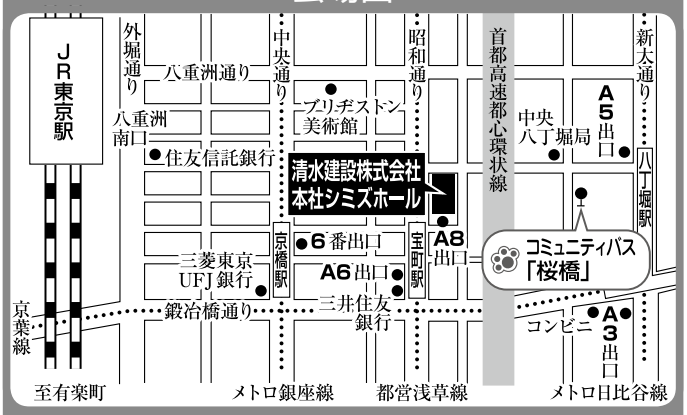
代表作品：穴八幡宮境内整備事業（隨神門/出現殿/鼓楼）、武蔵一宮氷川神社祈祷殿･神札所、西新井大師本堂(免震改修設計)。

平井　直樹（ひらい　なおき）

清水建設㈱技術研究所研究員。京都工芸繊維大学大学院修了。博士（学術）。専門は近代建築史の研究と歴史的建造物の保存・活用。

1998年に復元された穴八幡宮隨神門

会場図



中央区京橋2－16－1

連携講座　③－12【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆情動の哲学入門～情動と人生の意味を考える～

主　題　情動はとかく悪者にされがちであるが、害をなすのは過度な情動や異常な情動であって、状況にふさわしい適切な情動はむしろ人生にとって不可欠である。理性だけで幸福な人生を送ることができるわけではない。情動は世界の価値的なあり方を感受し、そのあり方にふさわしい行動を動機づける。理性は情動の誤りを正し、情動能力を鍛えることで、正しい情動に基づいて生きるのを手助けする補佐役である。道徳的な非難や謝罪を可能にするのも情動であり、情動があるからこそ道徳が成立する。欺瞞的な情動に陥らずに、真正な情動に生きることではじめて、人生が意味を持つようになる。

講座番号　③－12

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

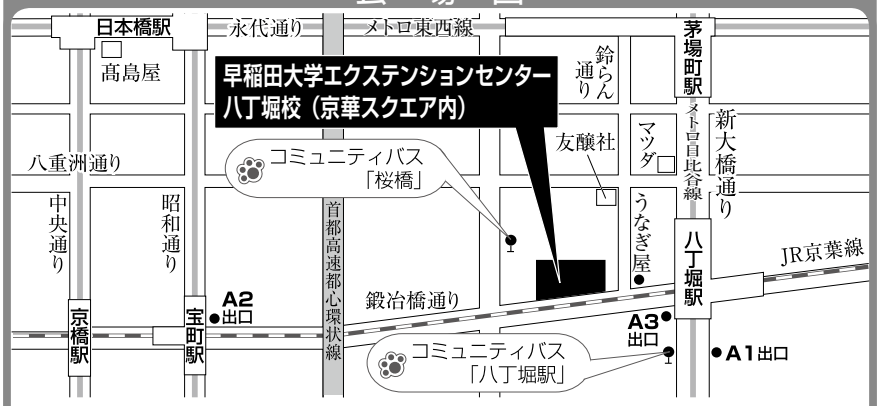
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/14（火）	情動と理性	信原　幸弘
第2回	5/28（火）	悲劇的ディレンマ	
第3回	6/ 4（火）	道徳的修復	
第4回	6/11（火）	感情労働	
第5回	6/18（火）	自己物語	

講師紹介

信原　幸弘（のぶはら　ゆきひろ）

東京大学大学院総合文化研究科教授。専門は心の哲学。心身問題や意識の問題から認知科学や精神医学の哲学など、心の哲学の諸問題を幅広く研究。著書は、『考える脳·考えない脳』（講談社現代新書）、『意識の哲学』（岩波書店、2002年）、『シリーズ新・心の哲学（全3巻）』（共編著、勁草書房、2014年）、『情動の哲学入門』（勁草書房、2017年）、訳書は、P・チャーチランド『物質と意識（原書第3版）』（共訳、森北出版、2016年）など。

会場図



【交通】■ 地下鉄 日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より　徒歩1分
■ 地下鉄 浅草線「宝町駅」A2出口より　徒歩7分

中央区八丁堀3－17－9 京華スクエア3階
☎5117－2073

連携講座　③－13【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆源氏物語を読む～桐壺巻～夕顔巻～

講座番号　③－13

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

主　題　本講座では、『源氏物語』の最初の巻である桐壺巻から、帚木巻、空蝉巻、夕顔巻について概説しながら、それぞれの重要な場面を読んでいきます。桐壺巻には、光源氏の父である桐壺帝の恋と光源氏誕生が物語られます。当該部分が全体とどうつながるのか、『源氏物語』の表現の特徴はどんなものなのかなどを、丁寧に解説していきます。平安の居住空間、儀式、恋のルールなどについて視覚教材を用いてわかりやすく説明します。中国の漢詩「長恨歌」を想起させる桐壺帝の恋、マクベスやオイディプスにもあるような光源氏への不思議な予言と謎、能や歌舞伎などの舞台にもなった夕顔との恋物語を次々ご紹介して読み解きます。2020年東京オリンピックも間近ですが、日本を代表する世界文学たる『源氏物語』を一緒に楽しく学びましょう。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/15（水）	『源氏物語』概説　桐壺巻冒頭を読む　桐壺帝の恋	橋本　ゆかり
第2回	5/22（水）	桐壺巻を読む　光源氏の予言と謎　藤壺入内	
第3回	5/29（水）	桐壺巻を読む　光源氏元服と恋　右大臣と左大臣	
第4回	6/ 5（水）	帚木巻を読む　雨夜の品定め　頭中将の常夏の女	
第5回	6/12（水）	帚木巻・空蝉巻を読む　空蝉との恋	
第6回	6/19（水）	夕顔巻を読む　夕顔との出会い	
第7回	6/26（水）	夕顔巻を読む　名乗り合わない恋	
第8回	7/10（水）	夕顔巻を読む　八月十五夜　恋の逃避行	
第9回	7/17（水）	夕顔巻を読む　物の怪出現	
第10回	7/24（水）	夕顔巻を読む　夕顔との別れ	

講師紹介

橋本　ゆかり（はしもと　ゆかり）

首都大学東京講師。東京女子大学大学院修了、名古屋大学大学院修了、博士（文学）。単著『源氏物語の〈記憶〉』（翰林書房）、共著『源氏物語　煌めくことばの世界Ⅱ』（翰林書房）、共著『王朝文学と服飾・容飾』（竹林舎）、共著『枕草子　創造と新生』（翰林書房）、論文「光源氏の青海波と「袖振り」――「禁忌の恋」と「魂乞ひ」の記憶」（『物語研究』（機関誌）17号）など。居住空間や衣、しぐさ、身体、舞などメディアに注目した論や『竹取物語』引用などを展開し、繊細な読み解きをする。

連携講座　③－14【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆平成を振り返る～ジャーナリストが解説する30年の歩み～

主　題　動乱の昭和を経て始まった平成。株価は最高値水準まで駆け上がった後に大きく崩落して経済も足踏みを続け、大地震や自然の猛威に沈黙した。政治は「55年体制」が崩れ、政権交代も演じるなど混乱を続けた。消費税が導入されたものの財政規律達成までは道半ば。ベルリンの壁崩壊・冷戦終結で幕を開けた世界も、自国第一主義の横行で安定度は失われた。この間の日本は、経済面だけでなく、国際社会における発言・発信力や存在感は薄らぎつつある。平成が幕を閉じた時にあたり、代表的な出来事を適宜取り上げながら、私たちはどんな時代を生きてきたのかを検証。併せて、それらをどう次世代につなぐべきかを考えていきたい。

回数	日程	講義内容
第１回	5/16（木）	グローバリズムと格差拡大
第２回	5/23（木）	「政権交代」の動きと評価
第３回	5/30（木）	無党派層が急増した要因
第４回	6/ 6（木）	政治家は劣化したか
第５回	6/13（木）	冷戦後の世界の潮流と日本
第６回	6/20（木）	経済面における立ち位置
第７回	6/27（木）	アベノミクスとは何だったのか
第８回	7/ 4（木）	第４次産業革命の問題点と日本
第９回	7/11（木）	「トランプ不況」はあるか
第10回	7/18（木）	新時代につなぐべきものは

講座番号　③－14

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

講　師　紹　介

石井　正（いしい　まさし）

時事総合研究所客員研究員。1949年埼玉県生まれ。1971年中央大学法学部法律学科卒業。㈱時事通信社入社後は浦和支局で警察取材を担当した以外、一貫して経済畑で勤務。1987年から92年までニューヨーク特派員。帰国後は経済部デスク、電子メディア編集部長、産業部長、編集局総務、解説委員など歴任。2014年から㈱時事総合研究所客員研究員。武蔵大学客員教授、中央大学兼任講師など歴任。

連携講座　③－15【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆神聖ローマ帝国とハプスブルク家

主　題　「神聖ローマ帝国」は現在のドイツ、オーストリア、チェコ等々を領有するに過ぎなかったにもかかわらずかつての世界帝国であった古代ローマ帝国の後継国家を自称し続けてきました。それがゆえに王権は求心力を失い、帝国は「神聖でもなく、ローマ的でもなく、そもそも帝国ですらない」と哲学者・ヴォルテールに揶揄される分裂国家となりました。なぜ「神聖ローマ帝国」という大仰な国号を名乗ったのか？この講座は、この名前負けの歴史とハプスブルク家の関わりをたどります。

回数	日程	講義内容
第１回	5/17（金）	神聖ローマ帝国の成立
第２回	5/31（金）	大空位時代から金印勅書
第３回	6/14（金）	カール５世のたまゆらの世界帝国
第４回	6/28（金）	ウエストファリア条約―「帝国の死亡診断書」
第５回	7/12（金）	神聖ローマ帝国の終焉

講座番号　③－15

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
エクステンションセンター八丁堀校
回　数：５回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

菊池　良生（きくち　よしお）

明治大学理工学部教授。1948年生まれ。早稲田大学大学院博士課程に学ぶ。専攻はドイツ・オーストリア文化史。著書に『戦うハプスブルク家』、『神聖ローマ帝国』、『ドイツ三〇〇諸侯』など多数。

連携講座　③－16【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆報道キャスターが語る“話題のニュース”の見方

主　題　日本は世界有数の新聞を読む人の多さを誇っています。テレビの普及も世界一。大きな出来事があると、テレビの視聴者は一日テレビにくぎづけになります。多くの人は新聞をどう読んでいるのでしょうか？テレビとどう向き合っているのでしょうか？今のニュースを分析しながら、どう読み、どう解釈したら良いのか考え、記事や映像の受け止め方を学びます。報道が、過去にどうかかわってきたのか、未来をどう捉えているのかも探ります。

回数	日程	講義内容
第1回	5/21（火）	話題のニュースの見かた（分析と解説）①
第2回	5/28（火）	話題のニュースの見かた（分析と解説）②
第3回	6/ 4（火）	話題のニュースの見かた（分析と解説）③
第4回	6/11（火）	話題のニュースの見かた（分析と解説）④
第5回	6/18（火）	話題のニュースの見かた（分析と解説）⑤

講座番号　③－16

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

講師紹介

須田　哲夫（すだ　てつお）

元フジテレビ エグゼクティブアナウンサー。1971年フジテレビに入社以来、「3時のあなた」をはじめ、情報番組やニュースを担当。1995年からニューヨークに赴任し、全米各地を取材するほか、毎週ニューヨークの街角から中継リポートを担当。帰国後は、夕方のニュースキャスターを務め、日曜朝の政治討論番組を司会。

連携講座　③－17【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆観応の擾乱と足利尊氏

主　題　「観応の擾乱」は、室町幕府の初代将軍足利尊氏と、その弟直義の間で展開された幕府内部の抗争として知られています。しかしこの兄弟は、草創期の幕府を協力して運営し、その基礎を築いたことでも有名です。こうした二人は、なぜ対立することになったのでしょうか。「観応の擾乱」は、打倒鎌倉幕府の戦争が鎌倉幕府滅亡後も継続して全国的に展開した「南北朝内乱」としての側面も持っています。本講座ではそうした点にも注意して、擾乱の前提や尊氏・直義の立場を確認し、擾乱の意味とその後の社会などについて当時の様子を伝えるさまざまな史料を読みながら、考えていきたいと思います。

回数	日程	講義内容
第1回	5/22（水）	「観応の擾乱」とは
第2回	5/29（水）	南北朝内乱の始まり
第3回	6/ 5（水）	室町幕府の成立
第4回	6/12（水）	足利兄弟の立場
第5回	6/19（水）	擾乱後の社会

講座番号　③－17

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：5回
受講料：3,500円

講師紹介

櫻井　彦（さくらい　よしお）

宮内庁書陵部 文書研究官。1964年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業後、同大学院文学研究科修士課程修了。博士（文学・早稲田大学）。専門分野は、日本中世史。著書に、『悪党と地域社会の研究』（校倉書房）、『動乱の東国史 南北朝内乱と東国』（吉川弘文館）。